

今号のわだい

新年号(12月・1月合併号)です。
表紙はカラー
見開きになっています。

全厚労ニュース

全 国 労 働 組 合 連 合 会
厚生連
〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
<http://www.zenkouro.org/>

2019年 各県ニューフェイス 気持ち新たにスタート

新年あけましておめでとうございます。新春を迎え、各県から新役員（ニューフェイス）の皆さんに「今年の抱負」をアピールして頂きました。今年もいきいきと働き続けられる職場づくりに、全厚労一丸となって頑張っていきましょう。
本年も全厚労ニュースをよろしくお願い致します。

静岡



梅田葉子
書記長
(作業療法士)

谷口裕亮
副執行委員長
(薬剤師)

山口



若林大介
執行委員
(診療情報管理士)

小田一毅
執行委員
(理学療法士)

広島



矢山由起子
執行委員
(保健師)

三重



刀根良友
書記長
(検査技師)

高知



川村望月
執行委員
(看護師)

香川



後藤廣基
書記次長
(看護師)

川原武
書記次長
(薬剤師)

愛知



大倉嗣也
支部長
(臨床工学技士)



末吉真樹
支部書記長
(薬剤師)

大分



神田寛子
執行委員
(看護師)

徳島



左から
脇田寛子 執行委員(看護師)／出口千夏 執行委員(看護師)
脇山明菜 執行委員(看護師)／堺実貴子 執行委員(看護師)



秋田



佐々木芽衣
中央執行委員
(専従)

北海道



刈谷進一
中央副執行委員長
(理学療法士)

片山由紀子
中央副執行委員長
(看護師)

富山



水島朝範
中央副執行委員長
(作業療法士)

野畑善美
中央副執行委員長
(看護師)

木原弘
中央副執行委員長
(薬剤師)

新潟



高橋智章
副執行委員長
(介護福祉士)

福島



佐藤洋子
中央執行委員
(看護師)

佐々木一希
中央執行委員
(理学療法士)

全厚労



後列左から 秋田・三浦拓也 中央執行委員(作業療法士)
岐阜・斯波貴弘 中央執行委員(看護師)／静岡・辻本英範 中央執行委員(薬剤師)
前列左から 本部書記局・岡野学 書記次長(専従)
福島・齋藤文子 中央執行委員(看護師)／愛知・辻英晶 中央副執行委員長(専従)

茨城



後列左から 杉山雅美(放射線技師)／井能秀雄(検査技師)
佐谷戸正幸(看護師)／斉藤智仁(検査技師)…執行委員
前列左から 斉藤史哲(看護師)／蜂屋康平(看護師)
本間由里子(看護師)…執行委員

岐阜



平田篤史
中央執行委員長
(看護師)

熊崎誠
書記長
(理学療法士)

埼玉



柳瀬侑香
書記次長
(理学療法士)

藤田諒
書記次長
(作業療法士)

長野



饗場智明
中央副執行委員長
(臨床工学技士)

地域医療を自分たちで考え守ろう

第35回医療研究集会在静岡

11月16～18日にかけて、全厚労第35回医療研究集会在静岡県静岡市で開催。全国から121名が参加しました。今集会のメインテーマを、「住民とともに協同組合医療運動を復興させよう」離職が止まらないのはなぜ？一緒に考えよう地域の未来（こと）と掲げ、地域に根差した病院づくり、地元での活動を振り返り、学び、交流を深めました。

住民・医師・行政いっしょに運動し解決しよう



参加者同士の討論を意識した学習特別報告

集会は、開催県の静岡労辻本英範執行委員長の「普段の地元での活動を縦の糸、全国集会での活動を横の糸と例え、皆さんの沢山の糸が折り重なって有意義な3日間となりますように」と素敵

（昭和58年）に第1回医療研究集会在スタートし、今年で35回目を迎えるにあたり、改めて厚生連病院の存在意義を学ぶにふさわしい「地域に根ざした病院づくり」をスローガンに掲げる静岡県を今



全体会にもグループワークを取り入れました

集会の場としたことが話されました。学習特別報告では、秋田県の鈴木土身さん（元秋厚労専従）より「医療

労働者としての教訓・課題」と題し、秋田県で精神科医師2名を確保し、12年かけて秋田県鹿角地域で、医師不足の根源を突き止め、住民とともに運動し、自分たちで解決していく事から学んだ21の教訓と課題を歴史とともに報告して頂きました。社会保障が年々削減される中で、医療の危機は決して限定された地域の出来



寸劇を取り入れた出張健診班の再現をする第3分科会

全国の仲間とつながり深める分科会

事ではない、自分の病院で起きたらどう対応するのか、どんな運動ができた

るのか等のテーマをグループワークに取り入れ議論しました。ウェルカム報告では、夕食交流会の場にて、静岡厚労山口友貴さんより温泉地にある中伊豆温泉病院ならではの「水治療法」について報告していただきました。

2日目からは4つの分科会に分かれ、第1「医療労働者と地域とのかわり」ちよつとだけ視野を広げてみよう、第2「仲間とつながり働きたいを見出そう！いいことも悩み共有しよう！地域の出来」あなたは1人じゃないよ、第3「病院を地域に開く」、第4「いのちを守る厚生連の役割」のち・憲法・厚生連のテーマで行いました。また、第1分科会では、長友薫輝教授（三重短期大学）、鈴木土身さん（元秋厚労専従）を助言者として、第4分科会では、長尾ゆりさん（全労連）が講師としてご参加いただきました。分科会については、3面にインタビューを記載していますので御参照下さい。



第1分科会に参加された皆さん、笑顔が素敵です

厚生連が果たす役割を再確認

3日目の最後は、エピソードとして茂原宗一事務局長より、今集会の成果・教訓と今後の展望をまとめていただきました。全体を通して、全国の仲間、初めての者同士が集まり、同じテーマでじっくり話し、悩み、学び、交流し、全厚労医療研究集会の目的と位置づけである『①全国に仲間と悩みを共有し、つながること②日々の仕事の「社会的な意義」を確認すること③地域の一員として厚生連病院が果たすべき役割を再認識すること』をみんなで再確認し、心の距離も縮め、とても有意義な3日間となりました。（教宣部・春原晶子）

第35回

医療研究集会 in 静岡

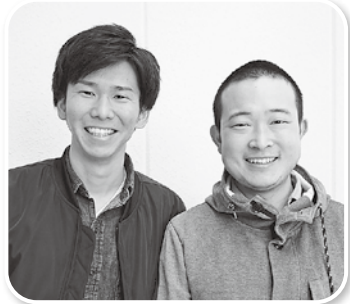
分科会参加者インタビュー

4つの分科会毎に参加者にインタビューしたので紹介します。

第1分科会

地域との関わり、視野を広げて

茨厚労 峯岸優太（放射線技師）写真左



方々から言われたほうが行政が動きやすいなど。地域が動くことで病院とはまた違う作用があり、ただ知ってもらうだけじゃない、地域の方々と関わる重要な理由になっていることを感じました。

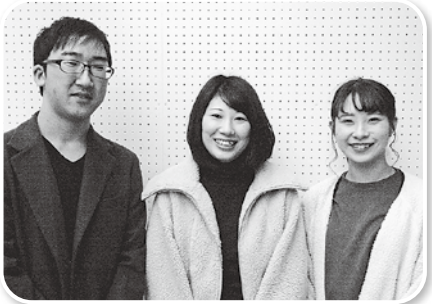
集会には初めて参加しました。他県の病院の事情・意見が聞けて、とても貴重な体験になりました。分科会では、どの病院も問題を抱えていて、熱心に取り組んでいる報告が印象的でした。自分の病院（水戸）の報告でも、地域の方々と関わり合いを持つことで、病院だけでは出せない力、働きかけができること。地域の

集会に参加して、分科会が「視野を広げると」いうテーマだったので、これから自分のことだけでなく一緒に働いている部署のこと、他の部署のこと、最終的には病院の外の地域のことで考えながら仕事をしたい。ちよとだけでなく視野を広くしていけたらと思います。また参加したいです。

第2分科会

働きがいとは患者さんと向き合うことから

熊総労 入江彩香（理学療法士）写真中央



組合の活動に始めて参加しました。全てが初めてだったので最初は不安でしたが、グループワークなど他職種の方とお話できたことがとても良い刺激になり、勉強になりました。

第2分科会では離職防止や働きがいについて学

習・議論しました。私自身、普段は何を働きがい

にしているのかも無く、ただ与えられた仕事をこなすというような感じに働いていました。分科会を通して感じた事は、目標を持って患者さん一人ひとりと向き合っていけば働きがいをもって働けるということです。目標を持つ事で仕事も楽しく

第3分科会

病院と地域とのふれあいを再認識

長厚労 菊池環（薬剤師）



変良い活動ではないかと思いました。

2つ目のレポートは静岡厚労きよみ支部、望月さんによる「教室を通じて地域に根差す老健づくりの取り組み」でした。冒頭でJA清水が推奨する「きらきらみかん体操」を皆で行いました。リハビリスタッフと一緒に考えたということで、お年寄りが体を動かすための理にかなっている体操でした。大変好評で、参加者からは是非とも自分の地域でも広げていきたいとの声が聞きました。地域でのデイサービスの企画、運営を行っていることでしたが、継続していくのは、マンネリ化を防げなければなりませんし、たいへん難しい

第4分科会

憲法や人権から考える切り口が面白い

長厚労 佐藤彰信（作業療法士）



した。今回は「当然、あなたも行くんでしょ？」という感じ（笑）で連れてこられました。

集会には埼玉、茨城と参加して3回目です。一度目は「佐久から行くぞ」と言われて参加し、2度目は県の医療研運営委員になったので、県の企画を考えるために来ま

課題と感じました。

3つ目のレポートは佐久総合病院、遠藤さんによる病院祭の報告でした。佐久総合病院の病院祭は歴史があり今年で72回目になります。病院祭は地域のお祭り「小満祭」に合わせて毎年5月に行われており、運営は病院全体で各々分担して、毎年約1万3千人の来客があり、大変盛大に行われます。私自身も入職してからずっと佐久病院です。で、これが当たり前のように毎年病院祭に参加しています。もしかしたら、他の厚生連の方から見たら異様に見えるかもしれませんが。しかし、「病院を地域に開く」のメインテーマそのものではない

かと思っていますし、若月俊一先生が目指していた地域とのふれあいは、これなのだ、分科会に参加して再認識させられました。そして夕食交流会に毎年恒例の寸劇を約半日の練習の後、披露させて頂きました。それぞれ、昔ながらの衣装にまとい全員参加で行いました。内容は難しかったかもしれませんが、参加者同士の連携も取れるようになり、交流もより深まったと感じました。大変楽しく、大変勉強になった2日間でした。また来年も機会がありましたら参加したいと考えております。3日間ありがとうございました。

そもそもどうしてこういう社会になっているのか、という考える機会もあまりないので、帰ったら、社会がおかしなところに向かっているから、私たちの職場もこうなっているんだよ、って職場に伝えられたらと思います。

本当は厚生連に長くいるつもりもなかったのですが、25歳頃に、ちよとど病院の再構築も始まり、いろいろと意見を言っていたら、「おまえやってみろ」とか言われて、執行部に引張り込まれ、途中若干の休みもありながら、今に至っています。長野は、経営している人達が大学病院からの退職者になってくると、協同組合運営とか、労組の経営参加とか理解されてなくて、問題が出てきているんじゃないかと。私は未来の完成した企業の形が、「協同組合」ではないかと思っています。世界は逆行しているのでは、と感じています。

働き方改革もうも違うぞ、と思うし、色々な事を憲法の話と絡めると面白いな、と思いました。県医療研の担当テーマが「厚生連運動と経営参加」についてなので、今回学んだことを活かしつつ、どう展開しようかと考えています。

災害時に求められる医療の役割、 私たちに出来ることは？

19新春 座談会

2018年は7月の西日本豪雨災害を始めとする各地の風水害や、6月の大阪北部地震、9月の北海道胆振東部地震と立て続けに、震度6〜7の大地震が起きるなど、改めて日本が災害列島であることを知らしめました。これから大災害が予想される中で、私たち厚生連病院の役割や課題を考えていこうと、各ブロックから北海道、茨城、静岡、広島の方に集まって頂き、コーディネーターを畑中剛喜全厚労中央執行委員長にして「座談会」を行いました。

水道・道路などライフライン確保が大事

これまで経験されたことや、災害を想定して準備をされているところもあるかと思っています。順番に活動状況をお聞かせ下さい。



田邊 広島県の田邊です。7月の豪雨では、尾道では断水による日常生活への影響とか、場所によっては一階部分まで床上浸水してしまったりした家屋が多くありました。私の自宅は福山なんですけど、床上浸水になり、あとちょっとで床上になるところでした。たまたま家を建てたばかりで土台を上げていたものですが、何とか難を逃れた感じです。自動車の全損はどこもありました。2年前の大水の際には、50センチの浸水があって、その分土台を上げたのですが、それ以上の浸水があったと言っています。

これまでに経験されたことや、災害を想定して準備をされているところもあるかと思っています。順番に活動状況をお聞かせ下さい。

長瀬 北海道の長瀬です。北海道胆振東部地震の際には皆様から沢山の励ましの言葉や義援金なども頂き、大変感謝しています。被害が一番大きかった鶴川厚生病院からも元氣と勇気を頂いたと報告を受けております。

北海道でもここ数年で数回の台風による被害もありました。病院機能には大きな影響はありませんでしたが、町の農作物などの産業は大きなダメージを受けました。

北海道厚生連には、災害拠点病院が4カ所、そのうち帯広厚生病院が一番機能の大きい病院ですが、近隣の患者さんを受け入れたり、交通網の確保も重要でした。新しい道を作ろうという話はあったのですが、これも予算がなくて進んでいないので、この点でも課題が浮き彫りになったのかな、と思います。

断水や道の分断は想定していたなかったことなので、今年度の3月までには「災害対策マニュアル」を作成することになっています。

北海道厚生連としても迅速な対応に務めて、食糧や薬、救護物資を送ったり、被災状況を確認して看護師や薬剤師なども応援に行き、数週間にわたって、何とかやりくりをしてきました。

災害支援ナースへの財政・体制支援を



松村 茨城の松村です。11年の東日本大震災の時は、自身も被災しましたが、外来業務を行いながら、患者対応等を行っていました。私は災害支援ナースの経験をお話したいと思っています。

3年前の関東・東北豪雨の際には、土浦協同病院のドクターカーが水没してしまい、DMATの活動ができなくなりましたが、72時間後には震災の爪痕が多く残っている現状でした。

北海道厚生連には、災害拠点病院が4カ所、そのうち帯広厚生病院が一番機能の大きい病院ですが、近隣の患者さんを受け入れたり、交通網の確保も重要でした。新しい道を作ろうという話はあったのですが、これも予算がなくて進んでいないので、この点でも課題が浮き彫りになったのかな、と思います。



写真1 常総市の水害に派遣された時。道路が寸断されてなかなかたどり着けない。



写真2 遠州総合病院の災害トリアージ訓練。実際の車両・駅員さんに対応する。

【出席者】
長瀬 真幸 (北海道・札幌厚生病院 検査技師)
松村早緒利 (茨城県・土浦協同病院 看護師)
竹山 徹 (静岡県・遠州総合病院 事務員)
田邊 将寛 (広島県・尾道総合病院 理学療法士)
畑中 剛喜 (全厚労中央執行委員長 三重県東徳)

に寄り添い、希望されてくる支援を充分ではなくても出来るだけ早く、届ける事が重要で。自分の県以外の他の県から来ているチームとのカンファレンスの開催など、連携して支援する取り組みを考えることも課題であると思います。

企業・行政・地域を巻き込んだ災害訓練

竹山 静岡の竹山です。静岡では今のところ大きな災害はないですが、いずれ大地震が来ると言われています。地域とともに対策をやっていくことを紹介したいと思います。

私の勤める遠州総合病院は、浜松駅から徒歩10分くらいのところにあります。また近くには400床クラスの総合病院がたくさんある地域です。病院には、地震装置と井戸水が確保され、電気も3日間は自家発電ができるようになっています。

小さい頃から東海地震が起きると言われていて訓練もありました。今は南海トラフ地震が起きると言われているなかで、かつては年2



また時間が経つと避難所には、外国人だとか、お金がない人など社会的弱者の方々が残されています。

災害支援ナースを派遣する病院は、県の看護協会から依頼があったら、病院全体で、チームを編成し災害支援ナースと共に訓練を受けた事務職と出動するなど今後検討される良いと思います。

にも声をかけて、地域を巻き込んで訓練してきました。平成26年の院内訓練から、知ってもらおうという形で始めました。

まず映像を見て欲しいのですが「ビデオを上映、写真2」、駅員さんは遠州鉄道の職員です。駅構内で実際の車両を使っています。訓練ではリアルを追求して、演技指導から入っています。

「怒鳴れ、泣け、わめけ」と二人ひとりに設定を持たせ、こういうケガをして、こういう状態があれば、こういう状態になるはずだ、とシナリオがあり、メイクをして患者・ケガ人にリアルになりきってもらいます。

トリアージの状態に応じて、緑、黄、赤のエリアでそれぞれに訓練を進めています。大変なのは黒のゾーンで、心のケア、死を受け入れてもらう対応などもシミュレーションします。

避難所も、栄養科でいろいろと工夫を凝らしてカレーと味噌汁のご飯とかにしています。

また、遠州鉄道は公共交通機関の他、百貨店等を多角経営する地元企業です。遠州鉄道とタッグを組んでやることになり、他の企業や行政、市民にも声を掛け、自治会連合会に話し、浜松にはブラジル人が多いので、浜松国際交流会

が再開しましたが、尾道は離島が多いので、水道は命綱です。この辺も市は予算を割かずにはやっていました。また土砂災害もあって、病院がバイパスからしか行け

が再開しましたが、尾道は離島が多いので、水道は命綱です。この辺も市は予算を割かずにはやっていました。また土砂災害もあって、病院がバイパスからしか行け

が再開しましたが、尾道は離島が多いので、水道は命綱です。この辺も市は予算を割かずにはやっていました。また土砂災害もあって、病院がバイパスからしか行け

が再開しましたが、尾道は離島が多いので、水道は命綱です。この辺も市は予算を割かずにはやっていました。また土砂災害もあって、病院がバイパスからしか行け

が再開しましたが、尾道は離島が多いので、水道は命綱です。この辺も市は予算を割かずにはやっていました。また土砂災害もあって、病院がバイパスからしか行け

が再開しましたが、尾道は離島が多いので、水道は命綱です。この辺も市は予算を割かずにはやっていました。また土砂災害もあって、病院がバイパスからしか行け

が再開しましたが、尾道は離島が多いので、水道は命綱です。この辺も市は予算を割かずにはやっていました。また土砂災害もあって、病院がバイパスからしか行け

必要な政策を早く実行して

18秋闘・厚生労働省交渉

11月7日、全厚労中執など17名が参加して、秋の厚生労働省交渉を行いました。要求内容は、継続した4つの柱（①農村地域など地方での医療確保、②医療従事者の労働条件改善のための法的規制と診療報酬の改善、③病院薬剤師の確保、④介護職員の処遇改善等）に加えて、新たに⑤医療事務職の負担軽減と診療報酬制度の抜本的簡素化、を求めて交渉しました。

女性医師が働きやすい医療機関へ

地域医療確保の課題では、地域医療構想の問題や医師の労働時間規制、災害対策などについて厚労省を質しました。



厚労省の担当官に要請書を手渡す

担当官は、「地域医療構想では2025年に向けて、地域の医療ニーズに合わせて調整している」「無医地区には、総合確保基金などを使って医師確保を推進している」と発言。こちらからは「厚労省は地域の実態や実情を踏まえて、と答えるが現実には厚労省のガイドラインに沿うものになっているのが実情だ」と政府の姿勢を批判しました。

中々、女性の多い診療科の医師確保や女性医師対策を強化して欲しい」と訴えました。担当官からは、「対策は手探り状態。何をすれば解決するのか？教えて欲しい」と返されました。

病院耐震化などの災害対策については、「毎年度の調査では、耐震化率は72・9%、救急病院では、89・4%と年々上がっており、交付金事業も国の負担率を2分の1にして、一般病院まで対象にしている。18年度予算では増額も行った」と答えました。

政府の施策は手厚い看護に逆行

医療従事者の労働条件改善に向けた法的規制について、厚労省の回答は従来の域を出

るものではありませんでした。が、夜勤負担の軽減には、「多くの団体や個人からの要望を頂いており、看護師確保に向けても実情調査を踏まえて、検討を進めていきたい」との発言がありました。

交渉団は、「患者の層が変わっている。認知症が多くなっている手がかかり、看護師の数が足りない。そんな中で事務仕事は増えて、ベッドサイドにも行きづらくなっている。診療報酬制度のために看護が出来なくなっているのは本末転倒じゃないか」と訴えました。

「特定看護師」については、厚労省は「2025年に向けて在宅医療のために10万人体制を目標にしている」としながらも、進捗状況は、17年3月現在で1006名と目標の1%程度にしか達していないこと、その多くが在宅分野でなく病院に勤務する看護師であることを明らかにしました。

交渉団は、「構想そのものが破綻している。ただでさえ忙しい看護師をさらに追い詰めていくものだ」として抜本的見直しを求めました。厚労省は「元々5年後に見直しすることになっており、今年9月から検討が始まっている」と答えました。

病院薬剤師に魅力ある医療政策を

病院薬剤師の確保については、「薬剤師の担当部局の設置については、総務課で対応

しているが、関連部局とも協力し、進めていきたい」「全ての資格者を対象にした三師（医師・歯科医師・薬剤師）調査を行っており、その結果を基に、復職支援のためのリスト作成等、対策を行っている」「配置基準は、医療法では、最低限の施設基準として定めており、慎重に検討が必要」などと回答しました。

現場からは、「病棟実施加算を取っているが、薬剤師は有休も取れず疲弊している」「病院独自の支度金制度などで、なんとか確保しつつあるが、多くの薬剤師が奨学金返済を行うため、病院でなく調剤薬局を選択する流れは変わっていない」など、配置基準の引上げや奨学金負担の軽減につながる助成を強く求めました。

介護職全体の処遇引き上げが急務

介護職の処遇改善について、厚労省は、「今回、新たに10年以上の経験を持つ介護職に対して月8万円の賃金加算を1000億円規模の予算で行う予定」と発言しました。交渉団は、「そもそも今でも一般労働者と月10万円近い格差があり、介護職で勤続10年以上という条件のハードルが高すぎて実効性がない。予算を確保することはありがたいが、もっと現実的な基準を検討すべき」「専門学校の実習が半分以上が外国人」「介護職を選

択するというインセンティブを持たせるには初任給からの大幅引き上げが必要」などと主張しました。

病院事務職の働き方に目を向けて

新たに加えた医事職員の負担軽減や診療報酬制度の抜本的簡素化の要求項目では、診療報酬請求事務での多大な業務量やストレス、年休未消化

2018年 国内十大ニュース

■深まるモリカケ疑惑

森友学園問題めぐり、首相妻の名載る公文書の改ざん発覚（3月）、加計学園では首相秘書官が「首相案件」と発言した文書見つかる。（4月）

■スポーツ界の不祥事相次ぐ

レスリング伊調馨選手へのパワハラ、監督指示による日大アメフト選手の悪質タックル、疑惑噴出のボクシング連盟、女子体操選手めぐる暴力、パワハラなどスポーツ界の不祥事相次ぐ。（2月）

■次官セクハラに「#MeToo

財務事務次官による女性記者へのセクハラ行為が発覚（4月）。財務省が事実認めるも、「セクハラ罪という罪はない」と麻生大臣が擁護発言。全国で「#MeToo」広がる

■戦闘「隠しの陸自日報

「存在しない」としてきた

の実態などを訴えるとともに、2019年度は特にGW・年末年始で連休となる中で、早急な対策を求めました。

厚労省は、「改正医療法での医療従事者環境改善マネジメントシステムは事務職も対象にしている」「診療報酬は、基準・算定要件など、中医師の議論で決定しており、必要に応じて変えてきている」と答えるに留まりました。

交渉団からは、「レセプト見つかったと防衛相。「非戦闘地域」への派遣のほすが、攻撃・着弾が相次ぎ、「戦闘が拡大」の記載も。最高指揮官・安倍首相の責任いかに（4月）

陸上自衛隊イラク派遣日報が見つかったと防衛相。「非戦闘地域」への派遣のほすが、攻撃・着弾が相次ぎ、「戦闘が拡大」の記載も。最高指揮官・安倍首相の責任いかに（4月）

■藤井聡太君、最年少七段に

将棋の藤井聡太六段が勝利と昇段重ね、史上最年少の15歳9カ月で七段昇進果たす（5月）。61年ぶりの記録更新を果たした天才棋士に、将棋ファンのみならず驚嘆の声

■働く者の反対無視し高プロ規制

残業代を取り上げ、長時間労働を容認する高度プロフェッショナル制度に疑問や反対の声高まるも、政府与党が働き方改革関連法を強行。この改革って、誰のため？（6月）

■大規模災害に襲われた列島

震度6弱の大阪北部地震（6月）、死者・行方不明200人超の西日本豪雨（7月）、震度7の北海道地震（9月）、平年超える台風上陸など、大

期限が10日では、実際の業務日数は6日弱で時間外も多い。3日しか勤務日がない月もある。事務職は文句も言えず働いている」「レセプト査定

理由が問い合わせても分からない。再申請すると通ることがある。健保連も審査プロセスの効率化を目指しており、再請求を減らして病院や支側の事務負担を軽減するためにも、診療報酬を簡素化していくべきだ」と主張しました。

規模災害が相次ぐ日本列島。速やかな被災者支援と急ぎたい防災・減災対策

■オウム元幹部13人に死刑執行

オウム真理教による一連の事件で殺人罪などに問われた松本智津夫被告ら教団元幹部13人に相次ぎ死刑執行（7月）。事件から四半世紀「なぜ、あのような凶悪事件を起こしたのか」の疑問解かれぬままに

■連日の猛暑で熱中症相次ぐ

「災害級」の猛暑が日本列島を襲い、各地で最高気温を連日更新。埼玉県熊谷市では国内観測史上最高の41・1度（7月）を記録。熱中症での高齢者や子どもの死亡事故相次ぎ、救急車のサイレンが日夜鳴りやまず

■新基地反対の民意受け新知事

沖縄・辺野古への米軍新基地建設に抗する翁長雄志知事の突然の悲報。玉城デニー候補に県民が「基地のない、平和な沖縄」の思い託し、過去最多支持票で新知事に押し上げる（9月）



は、「薬剤師の担当部局の設置については、総務課で対応

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第137回は秋田と三重にお願いしました。



秋田 大原賢一さん

2014年に秋田県厚生連に入会し、勤続5年目を迎えました。入会前は金融機関に在籍したこともあり最初は不慣れなことが多く大変でしたが、今ではだいぶ業務にも慣れ、処理できる仕事の幅も広がってきたように感じます。

休日は所属チームでバスケットをしたり、ランニングをしたり、体を動かすことでリフレッシュしています。本所支部の組合数は少ないのですが、組織の活性化に少しでも貢献できるよう努めていきたいと思っています。

2018年度青年部長の小林涼香さんをご紹介します。青年委員として組合活動を始めて3年目、鈴鹿中央支部で看護師として働く超元気な人です！

「私は鈴鹿中央総合病院で看護師として患者様と日々向き合い、また今年度はプリセプターとして新人教育にも関わらせて頂いています。

青年部活動は3年目で、今年は部長をさせて頂くことになりました。先輩からのアドバイス、周りの協力も得ながら、今年度は「青年部スポーツ交流会」を2月に開催します。今まで以上に輪（和）が広がれば！と思っています。

またこの輪を基に職場環境の改善に向けた取組を頑張っていこうと思っています。

プライベートでは音楽フェスやライブに行くことで、休みの日は県外に行き、大好きな音楽を楽しんでいます！」



三重 小林涼香さん

読者の声

職場では隠れパワハラが横行しています。公然と不正を正せる職場でありたいものです。

(長野)

各県で同じようなことが起きていると思います。労働組合に事前に情報を提供することで解決出来ている県もあります。

(KU)

今回も面白い記事がたくさん読んで読みたいと思いました。特に青年部の記事などは若い世代の成長がうかがえて頼も

しく思えます。
——いつもご愛読ありがとうございます！今後も青年部が活躍している記事を書いていきたいと思っています。

(SB)

勤務時間隔11時間の確保は、3交代をしている人に、休みが多くなってしまう、有休が公平につけられない現状があります。勤務表作り、2交代もミックスなので、大変です。

(長野)

働き方が多様で、勤務表を作る側も勤務をする側も、ほんとに苦勞していると思います。働き方の

見直しも大事ですね。
——シーズンには冬タイヤの購入予定ですが、4本セット分の賞与が2年前からカットされ、痛い出費です。一時的な減額措置との事ですが、早く元の額に戻して欲しい所です。

(SN)

最近、賞与を含む人件費で調節されている感が否めません。経営者に考えを改めるよう強く訴えましょう。頑張っ高性なタイヤを買って下さい！

(YS)

聞かせて・教えて!のコーナー

☆10月号で募集した「聞かせて・教えて」結果発表☆

質問1 消費税増税(8%→10%)についてどう考える？

「反対」と「消費税ではなく法人税を上げるべき」が共に10票で最多でした。「賛成」は7票と次点。消費税が全額社会保障費に使われるなら賛成という方も多いのではないのでしょうか。

質問2 今年は世界各国で「Me Too運動」が広がりました。

あなたの訴えたい「Me Too」は？

「パワハラ」が16票でダントツ次に7票で「いじめ」でした。

その他の「Me Too」には「有休消化できない」という意見を頂きました。パワハラは労働政策審議会（厚生労働相の諮問機関）でも審議が始まっていますね。しっかり現場で働く労働者本意の規制を作ってもらいたいです。

さて、今回の「聞かせて・教えて!」は

質問1 12・1月合併号で一番興味があつた面は？

- A=1・8面（各県ニューフェイス）
- B=2・3面（医療研究集会）
- C=4・5面（災害医療・厚生連座談会）
- D=6・7面（厚労省交渉、他）

質問2 雪遊びといえば？

- A=雪合戦 B=雪だるま作り
- C=かまくら作り D=その他（意見・要望欄へ）

右のQRコードから全厚労ホームページを開き、「資料・データ」のページから過去の全厚労ニュースを見る事が出来ます。



クロスワードの投稿もQRコードからできます。氏名・住所・希望景品（図書カード又はクオカード）は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。

今年度からハガキでもポイントが貯まります☆

スマホからすべて投稿できます★

教宣部のつぶやき

クイーン・フレイ・マーク・ユリーが、エイズで亡くなったのが91年11月24日。以後のHIV治療の進化はすさまじく、あの頃活動していた薬害エイズの川田龍平君も今は国会議員で活躍している。もう少し生きていれば、フレイは今も歌い続けて、ゲイとしても誇らしくいただろうに、という想いが「映画」を観て溢れ出した (MT)



ヨコのカギ

- 1 新年のあいさつ言葉
- 9 中が空っぽなこと
- 10 失敗や過失。ノー……で完勝
- 11 歯医者では歯茎に注射。……薬
- 13 千両……、大根……
- 14 欠席も……も早退もなく皆勤賞
- 16 平和の象徴とされる鳥
- 17 車が渋滞して交通は……状態だ
- 18 プーさんは……のぬいぐるみ
- 20 ことわざ「割れ鍋に……」
- 22 トラが死して残すもの
- 23 けんかをやめて仲良しに
- 25 麦わら……、山高……
- 26 1……は60分
- 28 太公望とは……をする人のこと
- 29 夜頑張る受験生のパワーの源

- 31 いたずら書きのことです
- 33 大雪の……で学校が休みになる
- 34 環境保護のこと
- 35 ……駅、……島
- 37 寒いときなどに羽織ります
- 39 イノシシのように向こう見ず猛突進と突き進むこと

タテのカギ

- 1 大野クンがリーダーの5人組
- 2 ムダ遣いをしない人
- 3 黒柳徹子さん著「……ぎわのトットちゃん」
- 4 俳優の表情やしぐさの意味も
- 5 初詣の神社で吉凶を占う
- 6 たてがみがない……ライオン
- 7 「桃太郎」という銘柄もある餅つき道具の一つ
- 9 勉強に要する費用
- 12 「猪」の字のつく福島県の淡水湖
- 13 イノシシ肉の別名
- 15 スズメやウグイスなど
- 16 元日に門柱に掲げる家もある
- 19 シェークスピア「……の夜の夢」
- 21 改ざんが問題になった公……
- 22 牧童のことを英語では……ボーイ
- 23 南宗画に由来する画。文人画とも
- 24 世界最古の古代……文明
- 25 男が自分をさして言う。君と……
- 27 どこまでも斜めに動ける将棋の駒
- 29 焼いたサツマイモ。石……
- 30 ケーキ、ワッフル、ビスケット
- 32 朝鮮の代表的な漬物
- 34 米国はドル、日本は？
- 36 男……同権。男……共学
- 38 コレを天に任せる人もいる